

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスゆにご瀬田		
○保護者評価実施期間	2024年12月20日		～ 2025年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	2025年 2月 20日		～ 2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	項目2.職員の配置数が人員基準より多くなっていることで、外出や調理等できる活動の幅があること。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、外遊びと室内遊びとおかし作りといった複数の活動を設けている。 ・ご利用者様に複数の活動の中から選ぶ言葉がけを行い、自身で生活を組み立てるよう意識的に支援している。 ・ご利用者様の卒後を想定した現実的な取り組みを意識的にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の固定化に十分留意しつつ、反復的な取り組みを行うことで経験の積み重ね、慣れに繋げる。 ・家では中々できないことができる。ご利用者様の「やってみよう」がチャレンジできる取り組みをする。 ・ご利用者様が調理する中で味付け、濃さに注目する言葉を伝え、健康的な生活への理解を促す。
2	項目5.必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用できること。	<ul style="list-style-type: none"> ・1Fと2Fで完全個別空間がある。さらに、仕切りを設置して部屋を小分けできる環境にしている。 ・複数のご利用者様がリラックスできるよう、ソファを備え、タイルカーペットを敷いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に備品関係の安全状況を確認し、修繕する。
3	項目21.毎回サービス提供終了後、職員間でその日行われた支援の振り返りを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・どの職員も発言する。 ・PDCAサイクルを意識している。やってみた結果、うまくいかなかった場合はみんなで見立て直して、手立てを考え、再実行している。 ・その日、休みの職員にも共有できるよう、シートを作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の振り返り時間を多く設ける。 ・過去の研修資料を再度共有することで、支援の質の向上に繋げる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	項目3.車いす利用者が2Fへ行けるように階段昇降機の設置を試みたが、設置環境が整わなかったこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動が1Fと2Fに分かれることで交友関係の幅が狭まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン通話等、ICT活用。 ・多くのご利用者様と交流できるように随時1Fと2Fの配置を変える。 ・事業所外のバリアフリー化された環境でのサービスを提供する頻度を増やし、交友関係の幅の広がりに繋げる。
2	項目12.フェイスシート、アセスメントシート情報が多くなっていることで一部分かりにくさに繋がっていること。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画更新面談時や引継ぎ時にご家族から生活環境の変化や新たな課題等について情報共有いただき、シートに書き足していることで情報量が膨れ上がっている。また、種類別、細分化しすぎている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度ごとに一枚のシートに清書することで、より分かりやすくまとめられたものにする。
3	項目43.HPを活用した情報発信数が減ったこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン周辺機器が不調になったこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン周辺機器の環境が整ったので、随時HPにて情報発信を行い、頻度を高める。